



教育目標 あたかな心をもつ すすんで学ぶ さいごまでやりぬく つよいからだをつくる

令和元年度 第2回学校評価

校長 中村 直人

学校評価にご協力いただきましてありがとうございました。このたび、本校の教育活動及び学校運営に関する評価をまとめましたので、ご報告いたします。

調査の概要

- 1 調査実施期間 令和元年11月1日～11月9日
 2 対象・回収数 教職員36名 保護者409名 児童445名
 3 回答方法 保護者：【A:とてもあてはまる・B:だいたいあてはまる・C:あまりあてはまらない・D:あてはまらない・E:分からない】の5観点で評価した。
 児童と教職員：【A:とてもあてはまる・B:だいたいあてはまる・C:あまりあてはまらない・D:あてはまらない】の4観点で評価した。

I 評価の結果 【数値…%】

1 (児童) 楽しく生活している。

(保護者・教職員) 学校は、教職員が協力して教育活動にあたっている。

	A	B	C	D	E
児童	67.7	26.5	4.7	1.1	
保護者	46.3	45.7	4.4	0.2	3.4
教職員	63.9	33.3	2.8	0	

ご意見 ○よいところ(意見数25)

●改善を要するところ(意見数1)

○校長先生をはじめ教職員が熱心に親身になって指導している。(10)

○教職員が仲よく協力している。(5)

○教職員が明るく親しみやすい。(4)

○子供が元気で楽しく登校している(3)

●先生間の連携が取れていないように見える。

2 (児童) 学習内容が分かっている。

(教職員・保護者) 学校は、分かりやすい授業、楽しい授業に努めている。

	A	B	C	D	E
児童	53.8	40.9	4.9	0.4	
保護者	42.8	52.8	1.7	0	2.7
教職員	50.0	50.0	0	0	

ご意見 ○よいところ(意見数5)

●改善を要するところ(意見数1)

○学力定着に努めている。(3)

○視聴覚機器を活用して工夫しながら授業を進めている。

○子供たちが自ら発信する場を多く取り入れている。

●子供が学習に主体的に取り組めるようにしてほしい。

3 (児童) 自分から進んで学習することができる。

(教職員・保護者) 学校は、学力の定着を図るための取組(モジュール学習、算数少数指導、ノート指導、読書活動、補習等)を行い、学習意欲や学力の向上に努めている。

	A	B	C	D	E
児童	54.6	35.5	8.8	1.1	
保護者	46.9	49.7	1.3	0.3	1.8
教職員	55.5	41.7	2.8	0	

ご意見 ○よいところ(意見数13)

●改善を要するところ(意見数4)

○低学年からの算数少数やモジュール学習を行っていて学ぶ姿勢が身に付いてきた。(5)

○個に応じた指導をしている。(3)

○家庭学習チャレンジの取組。(2)

●宿題の質や量について。(3)

●ノート指導や補習の充実。

●理解できている子供には、授業中にもっと学習できる環境を与えてほしい。

4 (児童①)昨年度より、あいさつができるようになった。

(児童②)昨年度より、学校のきまりを守ることができるようになった。

(教職員・保護者)学校は、あいさつや学校のきまりを守ること等、集団生活を送る上で基本的な生活習慣が身に付くように指導している。

	A	B	C	D	E
児童①	60.2	33.3	4.7	1.8	
児童②	59.3	34.6	5.4	0.7	
保護者	51.3	45.0	1.5	0	2.2
教職員	47.3	44.4	8.3	0	

ご意見 ○よいところ(意見数11)

●改善を要するところ(意見数3)

○校長先生はじめ先生方が率先して挨拶をしている。(4)

○子供たちの挨拶習慣が身に付いている。(2)

○いじめについての指導が徹底している。

●子供たちの挨拶かできていない。保護者も意識すべきだと思う。

●登下校時の子供たちの態度が気になる。

●暴力的な言葉を使う子供がいる。

5 (児童)兄弟学年交流活動で、他の学年となかよくなれた。

(教職員・保護者)学校は、兄弟学年交流活動など、児童の豊かな関係作りに努めている。

	A	B	C	D	E
児童	63.2	28.5	6.3	2.0	
保護者	55.9	38.9	2.5	0.2	2.5
教職員	55.5	41.7	2.8	0	

ご意見 ○よいところ(意見数25)

●改善を要するところ(意見数3)

○兄弟学年交流がよい。(18)

○かしわ学級との交流と連携を図っている。(3)

○学校全体が仲よく、学年関係なく子供たちが仲よく活動している。(2)

●子供まつりがなくなったこと。(2)

6 (児童)学校で困ったことがあるとき、先生や相談室の先生に相談することができる。

(教職員・保護者)学校は、子供についての連絡、相談に適切な対応している。

	A	B	C	D	E
児童	42.2	25.4	19.7	12.7	
保護者	45.3	46.6	4.9	0.2	3.0
教職員	58.3	41.7	0	0	

ご意見 ○よいところ(意見数10)

●改善を要するところ(意見数1)

○子供のことをいつも考えて行動している。(4)

○ポプラ担任との連携が図れている。(2)

○問題が起きた時に迅速に対応している。

○子供のよいところ認めてくれている。

●子供も親も相談しやすい環境をつくってほしい。

7 (児童)体育の時間や休み時間に進んで体を動かしている。

(教職員・保護者)学校は、子供の体力向上のための取組をし、外で元気に遊んだり、進んで運動したりする子供の育成に努めている。

	A	B	C	D	E
児童	66.3	24.3	7.4	2.0	
保護者	48.6	48.2	1.5	0.2	1.5
教職員	91.7	8.3	0	0	

ご意見 ○よいところ(意見数15)

●改善を要するところ(意見数1)

○休み時間に外遊びを勧める、先生方も一緒に遊んでくださるところがよいと思う。(7)

○体を動かす場や機会を積極的に考え提供している。(3)

○夏休みのプールの回数が多いところ(2)

○学習能力の向上と体力・運動能力の向上のバランスが取れている。

●運動に親しむ機会を増やしてほしい。

8 (児童)避難訓練に真剣に参加している。

(教職員・保護者)学校は、緊急時に備えて、安全指導(避難訓練、毎月の安全指導等)、校舎内外の安全管理に努めている。

	A	B	C	D	E
児童	80.7	17.8	1.3	0.2	
保護者	53.7	44.1	0.7	0	1.5
教職員	66.7	33.3	0	0	

ご意見 ○よいところ(意見数1)

●改善を要するところ(意見数0)

○子供たちが安全に健康で過ごせるように心がけられている。

9 (児童)掃除の時間は、掃除をしっかりしている。
(教職員・保護者)学校は校舎内の清掃、整理整頓に努めている。

	A	B	C	D	E
児童	70.2	27.6	1.8	0.4	
保護者	50.5	47.0	1.0	0	1.5
教職員	75.0	25.0	0	0	

ご意見 ○よいところ(意見数3)
●改善を要するところ(意見数0)
○教室内が整理整頓がされている。
○クリーン運動の取り組みがなされている。
○校舎内外の清掃が隅々まで行き届いている。

10 学校は、学校だより、学年だより、学級だより、ホームページ、保健だより、給食だより、保護者会等で学校の活動や取組を伝えている(教職員・保護者のみ)。

	A	B	C	D	E
保護者	60.6	38.7	0.5	0.2	0
教職員	68.7	31.3	0	0	

ご意見 ○よいところ(意見数5)
●改善を要するところ(意見数6)
○学校、学級の様子がお便りで詳しく分かる。(2)
○ホームページに子供たちの様子がアップされていて分かりやすい。
●情報公開・伝達方法は紙ではなくもっと IT を活用してもよいと思う。

11 学校は、学校公開、講演会(セーフティ教室、食育講座、道徳授業地区公開講座)等を通し、育てたい子供の姿を保護者や地域と共有し、連携して子供の教育にあたっている(教職員・保護者のみ)。

	A	B	C	D	E
保護者	53.3	44.4	1.2	0.2	1.0
教職員	53.1	46.9	0	0	

ご意見 ○よいところ(意見数9)
●改善を要するところ(意見数4)
○専門性の高い講師を呼んで効果的な学習をしているところがよい。(7)
○保護者と教職員が協力して子供を守り育てている。
○食育など学力以外にも力を入れている。
●講演していただく方は様々な分野の方をお呼びした方がよい。

【かしわ学級】 かしわ学級についてのご意見のみを載せました。学校全体のご意見は各項目に反映しています。

○よいところ(8)	●改善を要するところ(10)
○先生方が親身で愛情をもって児童に接している。 ○上級生が下級生の面倒をよく見ている。 ○個々に合わせて理解するまで丁寧に授業を行っている。 ○雰囲気がとてもよい。運動会はかしわを真ん中に整列させ温かみを感じた。	●支援級の授業は生活が多すぎるように感じる。 ●兄弟学年交流やかしわ学級と通常学級の交流でどんなことをしたのか報告があるとよい。 ●通常学級レベルの学習ができるのに、通常学級との交流をさせてもらえない。

II 結果の検討

1 児童の結果から

○10項目中9項目において、【A とてもあてはまる・B だいたいあてはまる】という回答の値が90%を越える結果となりました。昨年度は、5項目でしたので肯定的な回答が大きく増えました。

○【A とてもあてはまる・B だいたいあてはまる】の値が一番高かったのは、設問8「避難訓練に真剣に参加している」で98.5%でした。また、設問9「掃除の時間は、掃除をしっかりしている」も97.8%と高い結果となりました。

○学習面に関しての肯定的な回答の値は、設問2「学習内容が分かっている」が94.7%。設問3「自分から進んで学習することができる」が90.1%でした。昨年度より設問2は8.4%、設問3は3.8%上回りました。教員は、日々教材研究に努め、子供たちに「分かる喜び」「できる喜び」「表現する喜び」が味わえる授業に努めています。今後も確かな学力の定着を目指します。

○体力に関しては、設問7「体育の時間や休み時間に進んで体を動かしている」の肯定的な回答の値が昨年度より2.5%上回り、90.6%となりました。校内研究を体育・健康教育とし、どの子も運動する楽しさや喜びを味わえるように取り組んでいます。今後もさらに子供一人一人の健康保持増進・体力向上の取組に努めてまいります。

2 保護者の結果から

- 今年度の回答率は91.1%で昨年度の84.1%から7.0%増え、より多くの方に回答をいただきました。
- 全項目において、【Aとてもあてはまる・B だいたいあてはまる】という回答の値が90%を越える結果となりました。また、8項目において、【Aとてもあてはまる・B だいたいあてはまる】の回答の値が95%を越える結果となり、教職員の励みとなりました。
- 【Aとてもあてはまる・B だいたいあてはまる】の値が一番高かったのは、設問10「学校は、学校だより、学年だより、学級だより、ホームページ、保健だより、給食だより、保護者会等で学校の活動や取組を伝えている」で99.3%でした。次いで、設問11「学校は、学校公開、講演会（セーフティ教室、食育講座、道徳授業地区公開講座）等を通し、育てたい子供の姿を保護者や地域と共有し、連携して子供の教育にあたっている」で97.7%でした。他にも、設問2「学習内容の理解」、設問3「学力向上の取組」、設問4「基本的な生活習慣の徹底」、設問7「体力向上の取組」、設問8「安全指導、安全管理」、設問9「環境美化」の肯定的な値が95%以上となりました。

Ⅲ ご家庭でのお子さんの様子 【数値…%】

A とてもはい B はい C あまり D いいえ E わからない

	A	B	C	D	E
設問①	56.1	39.2	3.1	1.2	0.4
設問②	34.0	50.6	13.2	2.2	0
設問③	45.0	44.9	8.4	1.5	0.2
設問④	52.7	41.4	2.9	1.0	2.0
設問⑤	39.4	41.1	16.4	3.1	0
設問⑥	39.3	38.1	19.2	3.4	0
設問⑦	34.1	47.7	15.6	2.6	0

設問①
お子さんは楽しく学校に通っていますか。
設問②
お子さんは十分な睡眠がとれていますか。
設問③
お子さんは家庭であいさつをしていますか。
設問④
お子さんは、友達となかよく過ごしていますか。
設問⑤
お子さんは家庭で学習する習慣がついていますか。
設問⑥
お子さんは、運動したり体を動かしたりしていますか。
設問⑦
お子さんは、家庭で学校の出来事について話しますか。

上記の結果から

- 【Aとてもはい・B はい】の値が昨年度より増加した設問は、③と⑥でした。特に設問3「お子さんは家庭であいさつをしていますか。」は5.6%増加しました。本校では、年間通して「3つのあ(あいさつ あつまり あとしまつ)と返事」の指導を繰り返し行っています。特にあいさつは代表委員会があいさつ運動を推進したり、保健部より元気アップカードを配布して進んであいさつすることを促したりしています。ぜひ今後も、保護者や地域の皆様と連携してコミュニケーションの第一歩であるあいさつが自然にできるように進めていきたいと考えます。
- 【Cあまり・D いいえ】の値が昨年度より増加した設問は、②と⑤と⑦でした。特に設問2「お子さんは十分な睡眠がとれていますか。」は【Cあまり・D いいえ】の値が5.5%も増加しました。子供の心身の健康に欠かせない睡眠は学童期(6～12歳)で10～11時間とされています。睡眠不足は、学力や心への影響があると指摘されています。また、様々なことに対して投げやりになったり感情のコントロールができなくなったりするとの報告もあります。本校では、保健の授業や元気アップポスターなど、さまざまな場面で早寝早起きの大切さを伝えています。ぜひ、ご子供たちの健康の保持・増進のためご協力をお願いします。

IV ご意見・ご要望に対する回答 ※紙面の都合で全てのご意見を載せることができません。申し訳ありません。

◎先生間の連携がとれていないように見える。

→私たち教職員は、「笑顔かがやく練三の子(子供の笑顔かがやく学校)」「みんなで育てる練三の子(教職員が協働する学校)」「家庭・地域との「共育」を推進し、家庭・地域から信頼される学校」を目指して日々の教育活動に取り組んでいます。この3つの学校像を達成するために、一人一人の教職員が専門職としての資質向上を目指したり、児童理解に努め児童のよさを認め伸ばそうとしたりしています。今後も常に子供一人一人のために教職員が情報を共有し、意思疎通を図りながら、共通実践に努めてまいります。

◎子供が学習に主体的に取り組めるようにする。

→新学習指導要領が来年度完全実施となります。そこには、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと」と、3つの視点が示されています。本校でも「主体的な学び」が達成するように学ぶことに興味や関心を持ち、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげるという視点を大切にしています。また、子供同士の協働や教職員や地域の人々との対話などを通して考える学習に取り組めるように努めています。今後も、教職員は、新学習指導要領に示された内容を研鑽し授業改善に取り組んでまいります。

◎写真販売をインターネットでできるようにしてほしいです。

→写真販売について複数のご意見をいただきました。本校がお願いしている業者は、入学式や卒業式、学芸会などの行事、遠足や社会科見学、移動教室などで撮影しています。また、卒業アルバムの制作も行っています。

昨年度と同様に業者にこの意見を伝えているところです。また、他校の実態も調べ、写真をインターネットで購入できないか検討しているところです。現時点では、販売形式を変えることが難しいとのこと。ご理解のほどよろしくお願いします。

◎5・6年生の遠足の実施してほしい。子供まつりがなくなったこと。

→新学習指導要領完全実施に向けて、昨年度、時間割を見直しました。また、今年度は行事を精選し「子供まつり」と「5・6年生の遠足」の実施しないことに決めました。理由は、新学習指導要領により標準授業時数が増加し授業時数を確保するためです。子供たちが楽しみにしていた「子供まつり」は計画や準備、片付けに多くの時間を必要とします。また、5・6年生は移動教室に行くので今年度から遠足をしないことにしています。ご理解の程よろしく申し上げます。

◎運動する時間や機会を増やしてほしい。

→一昨年度より体育科の授業を中心に研究を進めています。研究主題を「運動に親しみ、自らの力で健康的な生活を営む児童の育成」とし、授業研究を中心に取り組んできました。教員は、授業の計画を立てる前には、実技研修をしたり一時間の授業の流れを児童の実態に合わせて考えたりして授業改善に努めています。その研究の成果を令和元年11月29日に発表したところです。

本校では、運動の日常化を図るために「この指とまれ」「ロング昼休み」と題した体育的活動の時間を設けたり「短縄」「持久走」「長縄」についてチャレンジ月間を設定したりしています。

今後も保健や食育・オリンピック・パラリンピック教育も推進しながら、どの子も「運動って楽しいもんだ」「仲間と協力して行っている」と思えるように努めていきます。学校だけでは限りがありますのでご家庭や地域と連携して進めていきます。ご協力お願いします。

◎情報公開・伝達方法は紙ではなく IT を活用してもよいと思う。また、欠席時のネット送信や電話連絡に変えてほしい。

→緊急時の連絡等でホームページや学校連絡メールを使用していますが、欠席時の連絡でインターネットを使用する環境や体制が整っていません。ご理解とご協力をお願いいたします。「紙ではなくITで伝えること」については、これからも検討していきます。

なお、学校連絡メールに登録していない保護者の方々には、登録していただけますようお願いいたします。

◎ランドセルが毎日重くて気になります。学校に置けるものは置いて帰らせてほしい。

→現在、各学年に応じて学校に置いているものが異なっています。今後、子供たちや保護者の皆様が明確に分かるようにしていきます。

◎かしわ学級と通常学級の交流についてさらに進めてほしい。

→現在は掃除の時間や兄弟学年交流、遠足、社会科見学、運動会、委員会活動やクラブ活動等で交流しています。今後もかしわ学級の担任や他校の実践を踏まえてさらに交流の幅が広がるように計画していきます。

VI 来年度に向けて

学校評価の結果や学校で課題として捉えていることなどから、次の6点について検討し教育課程の編成に生かしてまいります。年度末の保護者会時には、資料をもとに新年度の教育活動について各担任よりご説明いたします。

(1) 新学習指導要領完全実施の教育課程

来年度は新学習指導要領が完全実施となります。各教科の学習内容が改訂され、年間の標準授業時数も増えます。また、外国語活動として3. 4年生で35時間、外国語科として5. 6年生で70時間実施いたします。

(2) 学力向上の取組の充実

学習規律の定着を図るとともに、「分かる喜び、できる喜び、表現する喜びがある授業」をさらに目指します。

(3) 体力向上を目指す取組の充実

子供一人一人の体力の向上や健康の保持増進に向けて、体育科の授業改善や運動習慣の定着、学校と家庭が連携した体力向上・健康の保持増進の取組を実施します。

(4) 豊かな人間関係の構築

子供一人一人に居場所がある学級(ひとりぼっちがない学級)を目指します。そのために教職員が子供をよく見て、話を聞くことを第1とします。そして、「練三小の児童のために」を合い言葉に連携を図り教育活動を推進します。

(5) 練馬区学校・地域連携事業における人材の活用

学校が必要とする教育支援活動を、地域の多様な人材の協力を得て展開していきます。そして、地域と連携・協働して子供の学びや成長を支えていきます。

(6) 教職員の働き方改革の推進

教育の質の向上を高めるには教職員の多忙化対策や負担軽減に向けた取組が必要になります。業務のスリム化や行事の精選や廃止を含めた取組に努めてまいります。